

2015年S-PLUS & Visual R Platform学生研究奨励賞

都道府県別魅力度と移住先 データのギャップ分析

東海大学 情報通信学部 経営システム工学科

澁谷 友祐

目次

1. 研究背景
 2. 研究目的
 3. 研究内容
 4. まとめ
 5. 考察
 6. 今後の課題
- 参考文献

研究背景

2014年移住先 ランキング

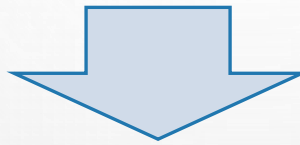
1	山梨
2	長野
3	岡山
4	福島
5	新潟
6	熊本
7	静岡
8	島根
9	富山
10	香川

2014年魅力度 ランキング

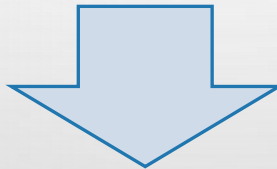
1	北海道
2	京都府
3	沖縄県
4	東京都
5	神奈川県
6	奈良県
7	福岡県
8	大阪府
9	長野県
10	兵庫県

研究背景

現在魅力のある県BEST3は北海道、京都、沖縄である



しかし移住したい県ランキングには魅力度上位の県は入っていない



魅力度と移住先のギャップはどこにあるのだろうか

研究目的

研究背景より

- ・魅力がある県と移住したい県はおなじではない
 - ⇒移住したい要因はなんなのか
 - ⇒その2つにはどのようなギャップがあるのか

研究目的

- ・移住したい要因の確定
 - ⇒地方地域の活性のヒントをつかむ

研究内容

- ・魅力度データについて主成分分析
 - 主成分が何を表しているかを判断
 - 魅力度の特徴を考える
- ・移住先データについて主成分分析
 - 主成分が何を表しているかを判断
 - 移住先の特徴を考える



魅力度と
移住先の
ギャップ
を掴む

TIBCO Spotfire S+® 8.2J for Windowsを使用

研究内容(魅力度結果)

表1 魅力度上位都10位道府県主成分分析による分布表

成分	説明された分散の合計					
	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和		
	合計	分散の%	累積%	合計	分散の%	累積%
1	5.988	54.438	54.438	5.988	54.438	54.438
2	2.781	25.285	79.723	2.781	25.285	79.723
3	1.093	9.934	89.657			
4	0.607	5.52	95.178			
5	0.256	2.326	97.504			
6	0.151	1.377	98.88			
7	0.098	0.893	99.774			
8	0.024	0.215	99.988			
9	0.001	0.012	100			
10	4.46E-16	4.05E-15	100			
11	8.82E-17	8.01E-16	100			

因子抽出法: 主成分分析

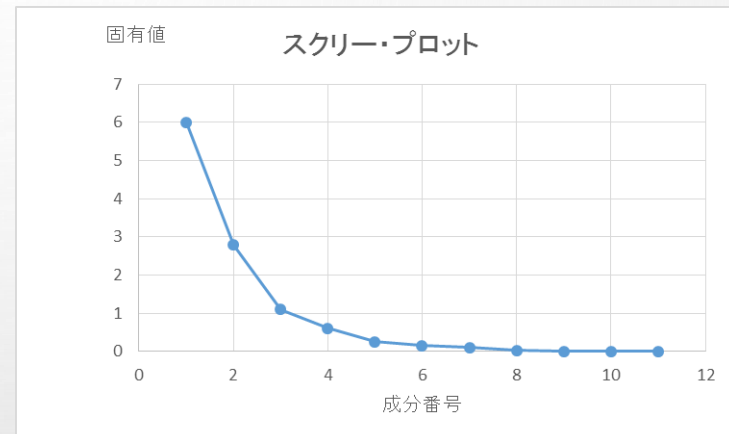


図1 魅力度上位都10位道府県主成分分析によるグラフ

累積寄与率が第2主成分で約80%ある。



採用

研究内容(魅力度結果)

表2 魅力度上位都10位道府県主成分分析による分布表

	成分	
	1	2
魅力度 (ポイント)	-0.18	0.575
偏差値	0.581	-0.62
進学率 (%)	0.708	-0.584
コンビニ総数(軒)	0.91	0.386
殺害者総数(人)	0.589	0.411
自殺者総数(人)	0.933	0.348
貯蓄額(円)	0.623	-0.74
郷土愛ポイント	-0.689	0.634
婚姻総数(件)	0.944	0.305
保育園総数	0.751	0.335
幼稚園総数	0.869	0.364

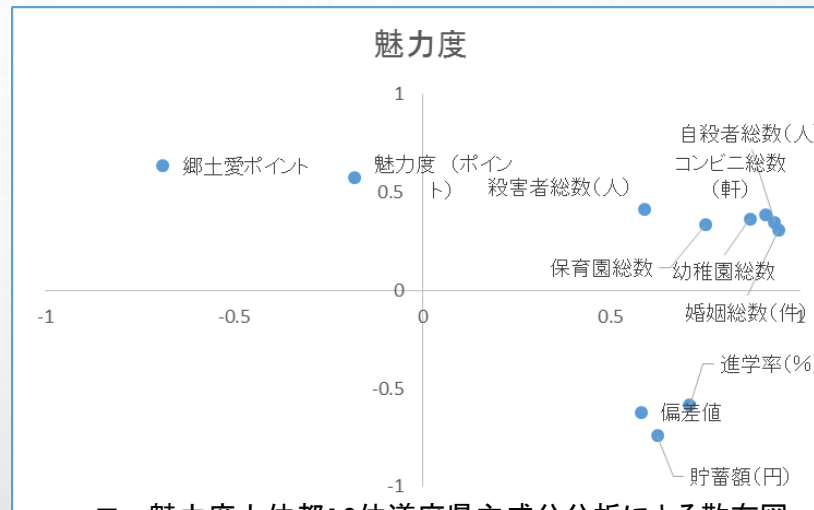


図2 魅力度上位都10位道府県主成分分析による散布図

上に行けば行くほど“世間的な知名度が高い”
右に行けば行くほど“利便性が高い”

研究内容(移住先結果)

表3 移住先データの主成分分析による表

成分	説明された分散の合計			抽出後の負荷量平方和		
	初期の固有値 合計	分散の %	累積 %	合計	分散の %	累積 %
1	6.206	56.418	56.418	6.206	56.418	56.418
2	1.64	14.906	71.325	1.64	14.906	71.325
3	1.448	13.164	84.489			
4	0.773	7.029	91.517			
5	0.544	4.948	96.466			
6	0.232	2.112	98.577			
7	0.109	0.991	99.569			
8	0.043	0.395	99.964			
9	0.004	0.036	100			
10	1.17E-16	1.06E-15	100			
11	-6.91E-17	-6.29E-16	100			

因子抽出法: 主成分分析

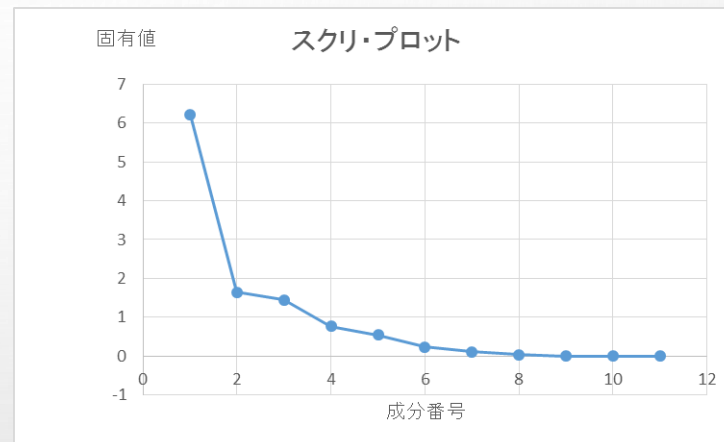


図3 移住先データの主成分分析によるグラフ

累積寄与率が第2主成分で約70%ある。



採用

研究内容(移住先結果)

表4 移住先データの主成分分析による表

成分行列a		
	成分	
	1	2
偏差値	-0.306	0.323
進学率(%)	0.265	0.45
コンビニ総数(軒)	0.986	-0.064
殺害者総数(人)	0.92	-0.274
魅力度ポイント	0.81	0.239
貯蓄額(円)	-0.085	-0.565
郷土愛ポイント	0.804	0.262
婚姻総数(件)	0.984	-0.147
保育園総数	0.691	0.65
幼稚園総数	0.734	-0.603
自殺者総数(人)	0.965	-0.021

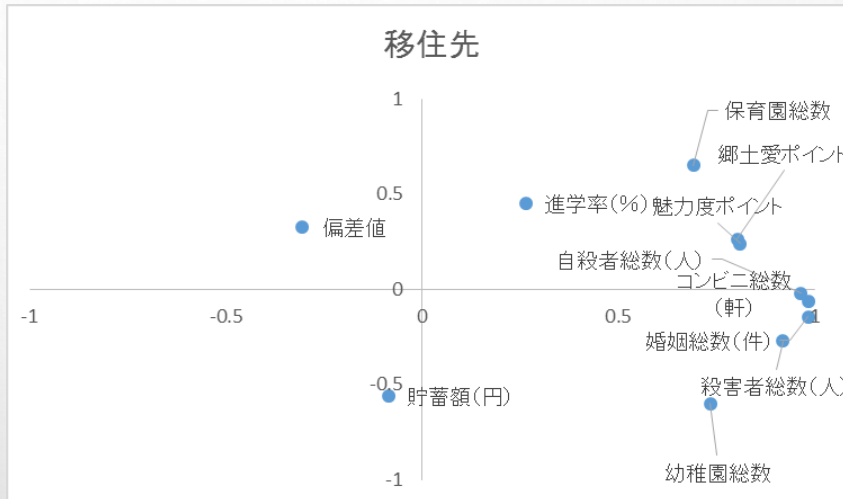


図4 移住先データの主成分分析による散布図

上にいけば行くほど“真面目、勤勉性が高く”
右に行けば行くほど“栄えた場所である”

研究内容(ギャップ)

図2 魅力度上位都10位道府県主成分分析による散布図

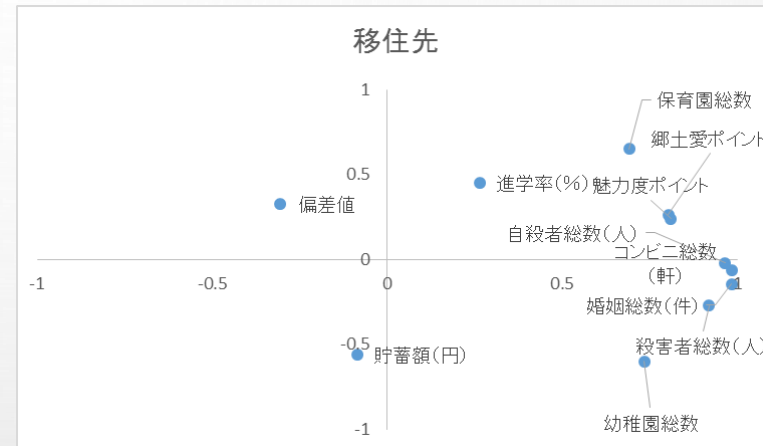
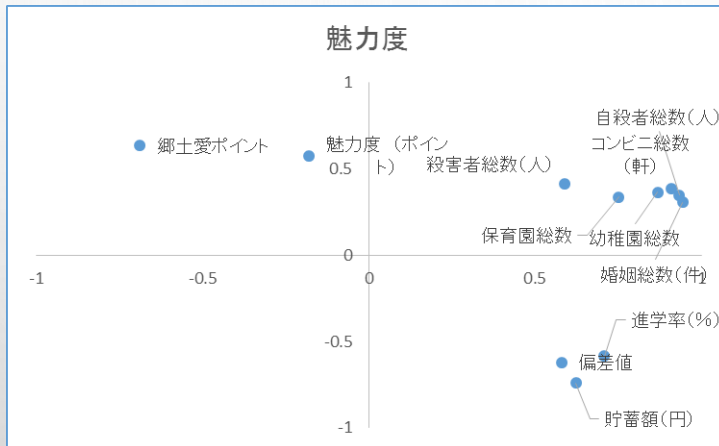


図4 移住先データの主成分分析による散布図

各添付図の形は似ているが
各ラベルの位置が違う



求められている
要素が異なる

まとめ

- 移住先上位県の特徴

- ✓真面目であり、勤勉性が高い
- ✓利便性が高い

- 移住先上位県の特徴

- ✓真面目であり、勤勉性が高い
- ✓栄えた場所である

考察(魅力度特徴)

- 魅力度のある県の特徴

- ✓ 世間的知名度が高い

- ⇒ 観光スポットが多い

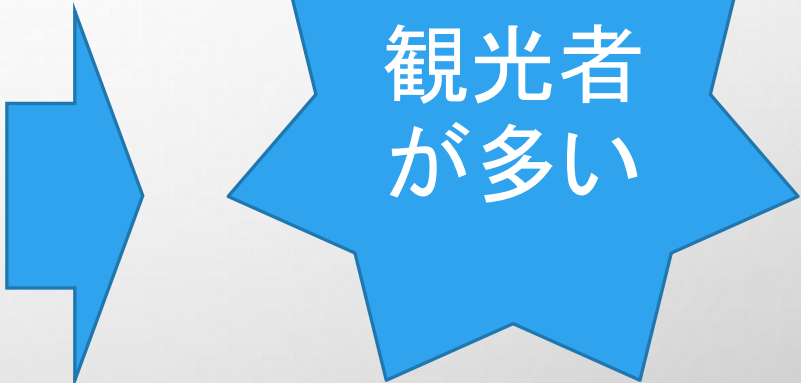
- ⇒ 名物料理などがある

- ✓ 利便性が高い

- ⇒ 電車や飛行機での

- アクセスがしやすい

- ⇒ 大型のショッピングモールある



観光者
が多い

考察(移住先特徴)

- 移住先上位県の特徴

- ✓真面目であり、勤勉性が高い

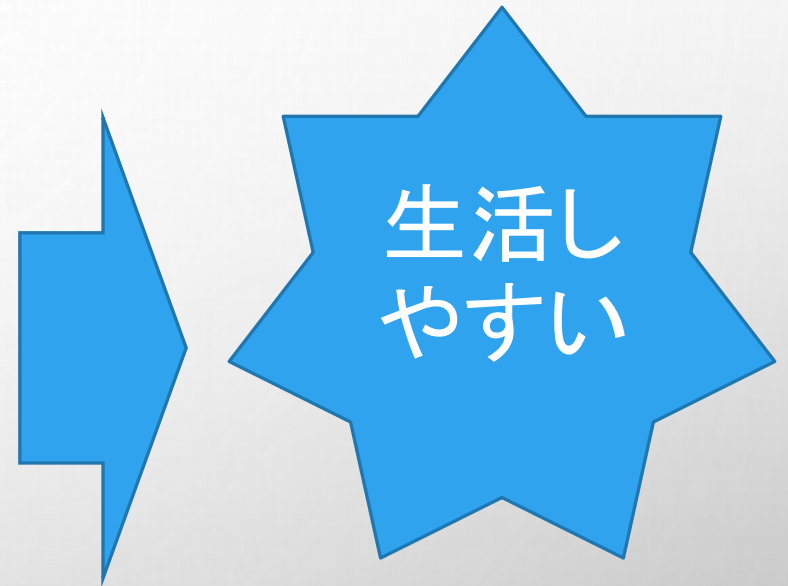
- ⇒治安が良い可能性が高い

- ⇒周りの環境が良い

- ✓栄えた場所である

- ⇒お店が多い

- ⇒生活が便利



考察(全体)

- 魅力度の高い県、移住先上位県ともに利便性、栄えていると類似している要素が見られる
- 魅力度の高い県は観光客や人が多く集まる傾向にあるので治安、環境の良さという要素に不安が残る
- 移住者を多く獲得するには利便性はもちろんのこと、治安、環境面に配慮することで移住者を獲得できるのではないかと考えられる

今後の課題

- 2014年のみのデータだけでなく他年度のデータも集め、他にも考えうる要因を見出す
- トップ10だけでなく他県についても分析を行う

参考文献

[1] [都道府県別統計とランキングで見る県民性](#)

[HTTP://TODO-RAN.COM/T/KIJI/10567](http://TODO-RAN.COM/T/KIJI/10567) 最終閲覧日 2015年10月28日

[2] [たびびとJINの記録JTB](#)

[HTTP://TABIBITOJIN.COM/OVERSEAS MOVING IN JAPAN/](http://TABIBITOJIN.COM/OVERSEAS_MOVING_IN_JAPAN/) 最終閲覧日
2015年10月28日